



ぶ

みんなの学校でも、ウサギやカメ、小鳥などの動物を育ててているのではないでしょか？ ペットのイヌやネコを家で飼つ

ている人もたくさんいるでしょう。今回は、そんな動物たちの健康や命を守る動物病院になつた時に動物病院の先生に治してもらつたことも、この職業に魅力を感じた経験で

ました。助けられた命を救えなかつた…、その後悔がきっかけです

獣医師

山口 忍さん (41)

はたえだ動物病院 (京都市左京区)

—やはり、動物病院にはいろいろな動物がやつてくるのですか？

「イヌやネコがほとんどですが、時々、ペットとして飼われているハムスターやリス、インコなども来ます。事故や病気で倒れていた野生のタヌキやイノシシもいましたね」

—どんな動物でも診察できますか？

「小学校3年生の時だったと思います。巣から落ちたツバメのひなを助けようと拾つたのですが、家に運ぶ途中で手から川に落としてしまい、そのまま流れ去ってしまった。助けていたい一心で治療する強い気持ちが獣医師には必要で

—診察室には、いろいろな器具や機械がありますね。

「手術の時に使うメスや麻酔用の注射器などがあります。みなさんのが病気やけがの時に利用する病院と同じで、骨を調べるエックス線や心臓や腹部の状態が分かるエコー検査の医療機器も置いています。病気の原因を調べるために、血液や毛を観察する顕微鏡もあります」

訪ねたら

はたえだ動物病院 (京都市左京区)
はたえだ動物病院 (京都市左京区)